

宇美町で育んだ少年期の思い出

神奈川県平塚市在住 中西 英敏

昨年5月のゴールデンウィーク、宇美小学校昭和46年度卒、6年3組の同窓会が行われました。この会は過去に数回行われておりましたが、私は今回が初めての出席で、担任の安川博先生を始め旧友たちとの再会を楽しみに帰省しました。我々同級生は今年満50歳を迎えます。さすがに30数年ぶりの再会で、若干頭が薄くなった者、メタボ真最中（自分を含め）の者などその変貌ぶりにほとんどの人の顔と名前が一致せず、最初は大変戸惑いを見せました。しかし、乾杯の後、会が進むにつれて昔の思い出話に花が咲き、一同が少年時代に戻ったような感じでした。私は宇美中学を卒業と同時に宗像市の東海大学第五高校での寮生活、そして、大学は神奈川県立の東海大学に進み、その後教員として大学に残り現在に至っています。15歳で郷里を離れた関係で、今回の同窓会の帰省は大変有意義なものとなりました。

私は縁あって10歳（小学4年）より、若楠会（現在の宇美町少年柔道教室）で柔道を始めました。柔道に出会ったおかげで、この柔道の修行によって多くのすばらしい人生経験をさせて頂くことが出来ました。私が幸運にも世界柔道選手権大会で優勝したり、ロサンゼルスオリンピック大会に出場できましたのも自分一人の力ではありません。特に私が世界の頂点に立てたのも中学時代までの宇美町での少年期に諸先生方から受けた指導や仲間たちとの切磋琢磨、それに両親、家族の愛情の賜物であったと常日頃から思っております。つまり、私の人生の原点、基盤はこの宇美町にあります。一度は帰郷も考えましたが、仕事柄、今の神奈川県に骨を埋めることになりそうですが、私はこの郷里を一生愛し続ける所存です。

耳を持った素直な心”の持ち主でした。私自身も常にこの直心という言葉にこれからも精進していきたいと思っております。これからも宇美町が益々発展していくことを心より祈念申し上げます。



中央が本人 10歳当時



中西 英敏氏

H20年 50歳の集い

編集後記

昨年の北京オリンピックでは、数々の選手の活躍に本当に感動を憶えました。この日、この瞬間にまで貯め込んだアドレナリンを一気に抽出し、好成績をあげる。メンタル面を鍛えたり、努力、才能もあるのでしょうか、きっと、その時に光る何かを持合わせているのでしょうか。宇美町の体育協会に属する団体の中にも、そんな魅力を持った人がいるはず。

次号は、そんな人達をこの広報誌で皆さんに御紹介して行くのが、私達の意気込みの一つです！どうか私達のフルに伸ばしたアンテナで作りあげる広報誌。一人でも多くの人の目に止まると幸いです。

三好 弘子

全国大会成績
団体三位 個人 林田 浩志 準優勝



池田和英
欠掛輝之
林田浩志
堀下昇
中嶋景政
安藤雄一

剣道部

全国青年大会観戦記

剣道部 中嶋 景政

私たち、福岡県代表糟屋郡剣道チームは去る、11月8日に、東京武道館で開催された第57回全国青年大会に出場しました。厳しい福岡県予

選を勝ち抜き必死でつかみ取った全国大会、一度全国大会に出場すると今後青年大会には出場できないということだったので、選手一同最初で最後の大会に今まで稽古してきた全てを出しきる気持ちで臨みました。

一回戦の相手は神奈川県チームで、一進一退のシーソーゲームとなり、大将の林田選手が2本勝ちし2勝2敗1引き分けで代表戦となり、林田選手に望みをたくしました。代表戦は1本勝負、見事なメンを決め強豪チームに逆転勝利することが出来ました。

二回戦は滋賀県チーム、先鋒、次鋒と勝ち、中堅、副将は負け、またしても大将戦、ここでは林田選手が2本勝ちし、準決勝へ駒を進めることが出来ました。続く準決勝は、愛知県チームと対戦、選手一同気持ちを引き締め臨みましたが、惜しくも力及ばず敗れてしまいました。その後、愛知県チームは決勝戦で東京チームに勝ち、優勝は愛知県チーム、我が福岡県チームは三位という結果に終わりました。



山の会

山の会 会長 重松 隆一

昭和33年（1958年）、町内在住の山好きの者約10名が集まって、宇美山の会がつくられ今年で50周年を迎えました。現在会員は51名です。昭和49年に宇美町体育協会が発足し、体育協会の会として新しいスタートをしました。それまでは「より高く、より遠く」という愛好者中心の山の会でしたが、体育協会の部組織に入ってから、全町民対象の体力づくりと健康保持を目的とした町民スポーツの山の会として活動しております。

主な活動として、毎年秋には町民ウォーキングの指導、三郡山コースの整備、昭和の森キャンプ場の清掃、写真展、地元を山を中心に県外にも月1回出かけています。これからも健康維持と体力づくりのため山登りを続けたいと思います。

* 記念行事として平成20年10月25日四国の石鎚山に登りました。

ソフトテニス

ニューフェイスに「ハッスル」「ハッスル」

こんにちは、宇美町体協所属ソフトテニス部です。

今年で創部三十六年を迎えた我部。創部当初は、ピチピチギヤル・ヤングイケメンだった部員も三十・四十はとうの昔。皆寄る年波にはかなわぬようになってきた今日この頃。が、ここにきて我部にもピチピチの若者の入部が相次いでいます。

往年の若者、いやオジサン・オバサン（失礼！）も若いエネルギーをもらって、練習に試合に「ハッスル」「ハッスル」の毎日です。それでは、ニューフェイスを紹介しましょう。



トップバッターは、**福田 大樹君**



平成十五年宇美中卒業後、須恵高校を経て現在、九州産業大学三年生。母校宇美中後輩の指導に熱心に取組む二十一才。戦績は、糟屋郡選手権夏季大会優勝等々。団体戦では、チームの柱として活躍中。シュートボールとロブの絶妙な配球が武器の後衛です。

次に、**築地 英臣君**



平成十六年宇美東中卒業後、須恵高校を経て現在専門学校通学中。勉強のかたわら宇美中で後輩の指導に当たっています。戦績もすばらしく県高等学校中部地区大会個人戦優勝。糟屋郡選手権大会「春・夏」準優勝。全九州専門学校選手権優勝等々。破壊力抜群のシュートボールが武器の後衛です。

続いて、**松田 光平君**



平成十五年宇美南中卒業後、須恵高校を経て現在福岡大学三年生。スリムでメガネの好青年（彼女募集中）。オバサン達の星です。最近は練習よりハイトの方が忙しいようです。コートで待ってまーす。

最後は紅一点、

池田 麻衣子さん



平成?年（歳がわかるので?におきます）。宇美東中卒業後、香椎高校・福岡大学を経て、現在、花のOL。今後、期待の星、オジサンたちのアイドルです。これからのソフトテニス部の一層の活躍に、乞うご期待ください。いやいや若いつてホントにいいですねー。

相撲

「まわしと僕と土俵ぎわ」

秦 孝太郎

宇美町の相撲は他の地域と比べてとても盛んです。子ども会育成会連絡協議会の子とも相撲や、宇美町青年団による宇美八幡宮仲秋祭奉納相撲など他にも各大会への出場と一年を通して土俵に賑わいを魅せています。

私が相撲をする様になったのは、子ども育成会の相撲大会でした。もともと柔道をやっていたせいも、取り組む競技は好きで、粕屋郡大会など様々な大会に出場することができました。何時しか相撲にのめり込む様になり、中学校3年生の時には全国大会に出場、さらに高校2年生3年生の時2年連続団体まで出場することが出来ました。

これもひとえに地域の方々や胸を貸していただいた（稽古）宇美町相撲部の先輩方に感謝したいと思っています。このご恩を返さなければいけない...と思っているうちに、だんだんとまわし締める事から遠ざかっている自分がありました。その矢先、青年団に加入し再び相撲をするようになったのです。もし、ここで青年団に入っていないならば、もう恩返しが出来ないと思っていたまさに、土俵ぎわです。

再びまわしを締めることになったわけですが、稽古に稽古を重ね、平成15年には全国青年大会（東京両国）に出場することが出来ました。結果も5位とうれしい成績が残せ、少しながら先輩方に恩返しが出来たと思います。

今度は、子どもたちに指導や育成する立場となったわけですので、日本の国技の素晴らしさと宇美町の相撲の振興に努力しようと思えます。また、更に自分自身の技を磨き恥ずかしくない立派な相撲をとっていきたいと思います。皆さんも是非！一緒にまわしを締めませんか？



バドミントン

宇美町には、「初心者クラブ」「宇美クラブ」「水鳥クラブ」と三つのバドミントンクラブがあり、活動しています。まず、初心者クラブから紹介すると、毎週水曜日の十七時三十分～十九時三十分、土曜日の十三時～十七時までの二回、住民福祉センターの体育館で練習しています。小学生以上で、バドミントンが好き、してみたい、楽しみたいという気持ちを持ったクラブで、中には親子で活動している方もいらっしゃいます。もちろん初心者もいて、監督コーチがやさしく指導し、熱心に行っています。昨年は、小学生の男子ダブルスチームが筑前地区大会を皮切りに順調に勝ち進み、全国小学生大会九州ブロック予選出場という快挙を成し遂げましたが、惜しくも一回戦で敗退しました。これをバネに、大人も子供も練習に力が入り、各種大会出場を目標に上位入賞をめざしてがんばっています。次に宇美クラブですが、こちらはレベルに関係なく、バドミントンが「大好き」というクラブで年齢層も広く、二十代～六十代で活動しています。毎週木曜日と金曜日の十九時三十分～二十一時三十分の間、住民福祉センターの体育館で練習しており、各種大会にも積極的に出場し、自分の力を試しています。最後に、水鳥クラブですが、毎週土曜日の十時～十三時の間、勤労体育館で練習しており、宇美クラブと同様に「バドミントンが大好き」というクラブです。バドミントンは、見た目よりも意外とハードなスポーツですが、してみるとたのしいですよ。屋内競技なので天候に左右されることもないので「してみたい！」と思っている方は一度、見学に来ませんか？子供も大人も歓迎します。各年代の「オグシオ」「スエマエ」をめざして、一緒に汗を流しましょう。どのクラブも、和気あいあいとした楽しいクラブです。



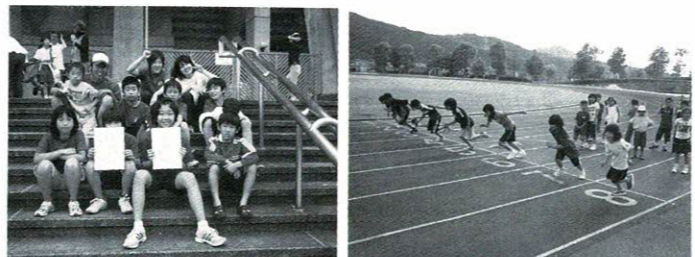
陸上

宇美ジュニア陸上クラブは平成15年7月に活動を開始。現在は水曜日と土曜日の二つのクラスに分かれ40名の子とも達が元気に練習に参加しています。「走る」「跳ぶ」「投げる」という動作はあらゆるスポーツの運動の基本です。このクラブではそのベースとなる体力・運動能力の向上を、楽しく、行つたことをモットーに練習に取り組んでいます。

今回はクラブを代表して、全国小学生陸上大会福岡県予選会に2年連続で出場し、見事連続入賞した原田佳奈さんを紹介いたします。中学・高校と大きく成長し、オリンピックに出場するようなトップアスリートになってくれるのを期待し、引き続きサポートしていきたいと思えます。

（指導者：藤木祐一郎）

16年生福岡県大会の感想（原田佳奈）
スタート前の最終コールの時、去年ははなかつた選手がいて「どのくらい速く走れるのかな？」とずっと不安でした。だけど、「せつかくここまで来たんだから頑張らなきゃ！」と思いました。そして決勝のレースを走ると7位でした。順位は去年（6位）より落ちたけれど、2年連続で県大会に出ることができたので悔いはありません。次は14秒50を切ることを目標に、引き続き陸上の練習を頑張っていきたいと思えます。そして「オリンピックに出場し、メダルを取ること」が私の大きな夢です！



合気道

宇美町合気道部は昭和51年武道館創立と共に発足し、指導は20年以上の有段者で構成、礼節を重んじ節度ある人格づくりが目標です。合気道は古流の柔術を母体として植芝盛平翁によって、近代武道として完成されました。

武道の武は「戈」を止める即ち争いを無くして平和世界の実現が目標です。宇美町の青少年達が合気道を通じて健全な人に成長して行く事が私達の願いです。

師範 井森 當博「七段」

宇美町体育協会 代表 田中 信恵子「四段」

宇美町スポーツ少年代表 本山 幹雄「五段」

田代 智「参段」 仲野 真樹「参段」

宇美町立武道館 一階柔道場

稽古日 少年部 成人部

水曜日 18時30分～20時 20時～21時30分

土曜日 18時30分～20時 20時～21時30分

日曜日 午前10時30分～12時30分

